



学力・学習状況調査結果の分析をしよう!

©岡山県「ももっち」

7月28日(木)に、全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果を公表しました。今号では、調査結果の分析方法を紹介します。

調査結果をどう活用すれば良いだろう?



- 全教職員で実態把握をし、**授業改善**をどのように進めるか考える。
- 児童生徒のつまずきを確認し、**解消の手立て**を考える。

Q: 何のために分析をするのか?

① 授業改善

- 全国**
 - ・問題別調査結果
 - ・問題別(解答類型)調査結果
- 県**
 - ・学年別(クラス別)成績集計表
 - ・問題一覧、記述問題等解答類型一覧
 - ・誤答分析シート など



② つまずきの解消

- 全国**
 - ・解答状況
 - ・S-P表
- 県**
 - ・クラス別成績一覧
 - ・成績順位一覧
 - ・フォローアップシート など

活用する資料

見取る視点

- ・全国や県、市町村の結果と比較して、**全体の傾向**を把握する。(平均正答率、無解答等)
- ・領域や設問ごとの結果に着目して、**成果と課題**を把握する。(誤答と反応率等) など

- ・**平均正答率が高い設問を通過していない児童生徒**を把握する。
- ・**教師の予想よりも正答率が低かった児童生徒**を把握する。 など

協議のテーマ例

- ・成果が出た理由
- ・課題の背景や要因

経年的な課題であった無解答率が減少しました!

無解答率が減った要因は何だろう?



全教科での振り返りを充実させた成果かな?

校内研修のイメージ

協議のテーマ例

- ・どこでつまずいているのか?
- ・どうしたら解けるようになるか?

Aさんは、昨年度も分数の問題ができていませんでした。

どこでつまずいているのだろうか?



〇〇の設問は、正答率が90%でしたが、5名の子どもが通過できなかったことがわかります。

【全国調査】解説資料や報告書を活用しよう!

報告書の速報版には、調査結果を受け、学習指導の改善・充実を図る際のポイントがまとめられています。また、授業アイデア例も示されています。



HPからダウンロードすることができます。ぜひ、活用しましょう!

国立教育政策研究所HP

©岡山県「うらっち」

【県調査】WEB評価支援システムを活用しよう!

分析結果を基に**個人別復習教材**が作成できるので、児童生徒の弱点克服を支援することができます。

個人別教材のダウンロード

フォローアップダウンロード

ドリルダウンロード

フォローアップ&ドリルダウンロード

※いずれかを選ぶと、個人別復習教材をダウンロードできます。

一歩先へ!

学力向上担当者の先生は、全教職員で協議した授業改善の方向性やつまずき解消の手立て等を学校経営アクションプランの(「知」に関する項目)に加筆したり、修正したりできないかを検討しましょう。加筆・修正案を管理職に提案し、全教職員で授業改善とつまずきの解消を行うようにしましょう。

